

サバ訪問

2013年10月、サバ神学院創立25周年記念式典及び卒業式に招待され、連盟から10名が訪問しました。

マレーシアに到着した翌日、私たちは、マレーシア・バーゼル・キリスト教会本部（BCCM）を訪れ、ビショップのツェン師やロー主任牧師から、教会の歴史やサバ神学生支援について伺いました。



広い敷地の中にあるBCCMコタキナバル教会、同じ敷地内に幼稚園や図書館もあります

したが、現在は350万人です。イスラム教国なので、イスラム教徒の入国を国が歓迎しているため、多くのイスラム教徒が入国しています。イギリスから独立した当時は、クリスチャンの人口が多かったのですが、今では逆転しました。サバ州の人口の約35%がクリスチャンです。

マレーシア系のクリスチャンがスゴいスピードで増えている

急速にクリスチャンの人口が増えてきているのにもかかわらず、牧師が不足している状態で、牧師が3つ、4つの教会を兼ねています。



ビショップより熱くお話を伺いました

「神学校を卒業したらどんな活動をしていますか」

教会や教会付属の学校、幼稚園等で牧師として働いています。また、サバにはミツションセンターがありグローバルな働きをしています。中国、マダガスカル、

フランス、インドネシア、キリギスタン、香港等に宣教師を派遣しています。



日本からの奨学金の割り振りをされているロー主任牧師

神学校について伺いました

カリキュラムは日本の神学校と同じようにあります。神学校に行くこととする人には、学費を100%支援しています。そのかわり、神学校を出てから5年間は牧師として働かねばなりません。もし、5年以内に辞めた場合は、奨学金を全額返さねばなりません。家族のいる人が神学校に行く場合は、家族を残していくと



サバ神学院建物の入り口です。記念コンサートと卒業式の会場でした

急増するマレーシアの人口

経済が右肩上がり高度成長が続いているマレーシアでは、近隣のインドネシアやフィリピンから働きに来る人で人口が急増しています。1963年にイギリスから独立した当時は、人口が60万人で

いう不安がないように、家族で住める部屋を用意しています。

神学校では、子どもや奥さんのために聖書の学びや手作業のプログラムがあります。

記念コンサートで宣教師を派遣しているアジアの国々の衣装を身にまとう学生たち



「女性会連盟の皆様も宣教の業に加わっておられるのです。」

ビショップやケンピン先生より感謝の言葉を頂きました。「本当に皆様のお支えに感謝します。女性会連盟の皆様のお支えは本当に大きいものでした。私たちの教会や神学生をお支えくださり、心から感謝します。支援してくださった神学

「今年BCCMでは10名の生徒を神学校へ送り出しました。そのために一人いくらの学費がかかるか計算して、奨学金の支援をします。」

この教会では、神学校卒業後も、より深く神学を学びたい人は、何年間か牧師として働き、学位を取るために再度神学校で学んでいます。



卒業式の後にステージに上がって、記念撮影をしました



かつて神学院長と来日されたイェン牧師と奥様に会うことができました

☆お話を伺い、私たちもまた同じアジアに住むクリスチャンとしての立場を顧みました。「靖国参拝」をはじめとして、近隣諸国とのいろいろな問題が報じられ、憂慮される中であって、このような宣教のパートナーシップをマレーシアの国と築くことができたことは、本当に神様の恵みであると感謝しました。



BCCMコタキナバル教会の英語礼拝に出席しました ユースリーダによる賛美と証の礼拝です